

夢

を持ち
を育み
を叶える

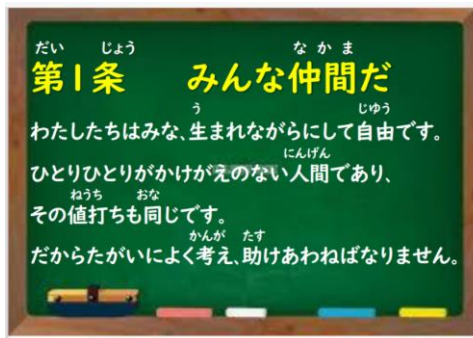
～大津町学校教育ビジョン基本理念～

★人権月間です

6月1日から7月15日まで、人権月間を設定しています。

人権教育は、学校教育活動の基盤です。日常的な指導は勿論大切ですがこの期間は、学校総体として教材を使いながら、じっくり取り組んでいく大切な学びの期間です。

新型コロナ感染拡大防止の中、「ソーシャルディスタンス」を余儀なくされ、さらにマスクで表情がよく分からない、感染不安のお休みが減らない状況等々、子供たちのつながりを育てるにあたって、以前のようにはいかない状況ではあります。が、だからこそ、つながっていくことが必要です。なかまになって、ともに困難を克服していくこと、日々のくらしを高めていくことは幸せに生きていく力になります。



6月1日の全校集会では、世界人権宣言(上)を紹介しました。運動会で培った「なかま」の意識と心地よさを強化する取組ができればと思います。

Murofessional 3rd

(むろふえっしょなる サード) ～室小ハイブリッド～みんなで創る室小
vol.3 R 4.6.6 文責：村田典子

“光”で元気を届けた運動会！

5月28日(土)朝6時。今村PTA会長ご参加の下、令和4年度の室小の運動会開催の爆竹を上げました。青空が眩しい1日になりました。

たくさんの保護者の方にご参観いただき、拍手、声援、大きな声は出せないの温かい、いえ熱い眼差しで応援していただきました。

この日のために何度も練習を重ねてきましたが、やはり本番が一番よかったで



す。もともと「本番に強い」室っ子ですから、さすが！とにんまり(^v^)しました。

各団、学年、学級で得た団結の心強さと温かさ、努力して成し遂げる達成感等、みな学びはあったはず。それをどう生かすかが大切です。ただの思い出に終わらず、成長の糧にするのは、これからです。この「光」が持続するよう、取り組んでまいります。

次に、この運動会を引っ張った各団長のすてきなコメントを紹介します。

*赤団(平田修大さん)：

ばくが運動会で学んだことは、みんなのリーダーとしてどう動けばいいかを考えたことです。整列の時は、一番に運動場に行き、低学年にも分かりやすい言葉で、指示を出しました。また、応援団の練習でも、大きい声を出し、みんなを引っ張ることを頑張りました。成長したことは、素早く行動することです。今までは、だらだら行動していたけど、そういう行動をするとみんなに迷惑をかけるということが分かりました。これからは運動会で学んだことを意識しながら、生活に生かしていこうと思います。

*白団(前田姫花さん)

私は小学校最後の運動会なので、いい思い出に残るような運動会にしたいと団長になりました。応援団での練習は、うまくいかないことがありました。意見が合わなかったり、言い合いになったりしたこともありました。直前になってみんなの気持ちが合うようになりました。運動会当日には、団席の前で応援していたら白団のみんなも手拍子をしたりして、応援していいチームになったと思うし団結していたので最高のチームになったと思います。そして白団だけでなく、室っ子みんなが一生懸命頑張った「光」になっていたと思います。

*青団(坂本瑛斗さん)：

学んだことは、みんなをまとめたり、みんなの意見を聞くのは難しいことだと思いました。誓いの言葉でも大きい声を出すというところが練習では、あまりできなかったけど、本番ではできたのでよかったです。成長したところは、みんなの前で発表するのが前より好きになったり、自分から「青団の団長をしたいと思います」と言えるようになりました。そして、実行委員長として室小の子供たちの全員に「楽しかった」と思ってもらえる運動会にできたと思います。今後につながることは、みんなをまとめられるために声を出すこと、そしてみんなの意見をしっかり聞こうと思いました。

プログラムの最後を飾った団対抗リレーの6チームの結果は、

1位：青団 2位：白団 3位：赤団 4位：白団 5位：赤団 6位：青団
でした。つい、2ヶ月前に入学してきたあどけない1年生が、団の優勝というミッションを背負って懸命に走る姿に始まり、学年が上がるにつれ迫力が増してくるその様子に、小学校6カ年の成長の歩みを実感しました。

最後になりましたが、準備、運営、片付け、応援等、温かく力強く運動会を支えてくださった保護者の皆様に心からお礼申し上げます。ありがとうございました。